

## 1. 概要

- 坪井川橋側道橋（橋長80m）の橋脚（PI）が老朽化し倒壊の懸念があったため、橋を支える為の仮の受け台を構築する緊急補強工事を実施中。
- 令和3年5月18日（火）に坪井川右岸に施工ヤードを造成するため、坪井川内に長さ12mの鋼矢板を打ち込み作業中、下水圧送管φ250mmを破損。
- 破損した下水管は坪井川の右岸側の熊本市西区の約2000戸の下水圧送管であり、上下水道局と連携し仮復旧に向け対応。5月22日に仮復旧完了。

## 2. 経緯

- 1) 令和3年5月17日 坪井川内の矢板打設開始
- 2) 令和3年5月18日（午前10時頃）矢板打設中に異常を確認、市に報告
- 3) 同日午前 上下水道局に対し、地下埋設管の有無を照会  
上水道：埋設管なし  
下水道：坪井川下（4.6m）に圧送管（铸铁管φ250mm）あり
- 4) 同日午後 上下水道局と調査を開始。下水道の調査により、埋設管の損傷を確認。



## 3. 対応状況

### 【都市建設局対応】

- ✓ 5月18日 側道橋工事を一時中断し、事故状況、及び事実確認を開始
- ✓ 5月19日 土木部長より「工事手順の徹底について」を職員に指示
- ✓ 5月21日 側道橋の緊急補強工事は、傾いている橋桁の受け台を1日も早く設置する必要があるため、安全を確認したうえで工事を再開
- ✓ 5月28日、6月1日に自治会及び地元の方々へお詫びとご説明に伺った

### 【上下水道局対応】

- ✓ 下水の圧送を停止。小島ポンプ場などのマンホールから下流側マンホールまでバキューム車による汚水の運搬を開始（昼夜間）
- ✓ 広報車で当該地区に「節水のお願い」をアナウンス
- ✓ 仮復旧工事を5月21日午前9時より開始。5月22日午後12時45分に仮復旧及び通水試験完了。

### バキューム輸送状況



### 仮復旧完了



## 4. 今後について

- 下水管の本復旧については、上下水道局と「復旧検討会」を立ち上げ、早期復旧に向け調整を進めている。これまで5/31、6/14に開催。
- 今回の事故の状況及び事実確認を整理し、再発防止策を立て、関係部局・職員に周知徹底する。
- 再発防止策の1つとして、地下工事がある場合は「設計」「工事」の各段階で地下埋設物調査の実施を義務付ける仕組みを整備することで技術管理課と調整中。